

# プログラム

## 特別講演

日時：平成22年11月11日（木） 14:00～15:00, A会場（びわ湖ホール 中ホール）

演題：ヒト・ノロウイルス培養系の確立を目指す新たな研究視点

講師：安東民衛（元米国疾病対策予防センター：CDC）

司会：林 賢一（滋賀県衛生科学センター）

## 教育講演 I

日時：平成22年11月11日（木） 15:10～16:00, A会場（びわ湖ホール 中ホール）

演題：食と法律の接点－食を取り巻く法律について

講師：金井美智子（弁護士法人 大江橋法律事務所）

司会：武政二郎（大阪あべの辻調理師専門学校）

## 教育講演 II（公開講座）

日時：平成22年11月11日（木） 16:10～17:00, A会場（びわ湖ホール 中ホール）

演題：近江のなれずし

講師：堀越昌子（滋賀大学）

司会：竹澤文雄（滋賀の食事文化研究会）

## 教育講演 III（公開講座）

日時：平成22年11月11日（木） 17:10～18:00, A会場（びわ湖ホール 中ホール）

演題：消費者視点の食の安全と安心

講師：日和佐信子（雪印メグミルク株式会社 社外取締役）

司会：浅尾 努（（財）日本食品分析センター）

## シンポジウム I 「食品クレームの現状とその微生物検査の展望」

日時：平成22年11月12日（金） 13:10～14:45, A会場（びわ湖ホール 中ホール）

司会：梅迫誠一（（株）日研生物医学研究所），西井成樹（（株）ファルコライフサイエンス）

S I-1 流通業界における商品苦情と微生物起因苦情

日野亮一（コープきんき事業連合）

S I-2 食品に関する相談への行政対応

山形哲夫（滋賀県生活衛生課食の安全推進室）

S I-3 腐敗変敗を中心とした検査法

吉田信一郎（（財）日本食品分析センター大阪支所）

S I-4 食品メーカーにおける微生物リスク管理

山田敏広（日清食品ホールディングス株式会社食品安全研究所）

## シンポジウム II 「今、注目すべき食品媒介病原体」

日時：平成22年11月12日（金） 14:55～16:30, A会場（びわ湖ホール 中ホール）

司会：山崎伸二（大阪府立大学大学院），西川禎一（大阪市立大学大学院）

S II-1 ジェジュニ、コリ以外の無視できないカンピロバクター関連細菌

山崎伸二（大阪府立大学大学院）

S II-2 非定型下痢原性大腸菌の疫学と検査法

西川禎一（大阪市立大学大学院）

S II-3 プロビデンシアの腸管病原性

本田武司（（財）阪大微生物病研究会）

S II-4 病原性エルシニアの疫学と検査法

福島 博（元島根県保健環境科学研究所）

## 一般演題

### 第1日目(11月11日(木))

#### A会場(びわ湖ホール 中ホール)

9:30~10:10 座長:盛田隆行(攝津製油株式会社)

A01 過去10年間の滋賀県におけるサルモネラの発生動向

○安田奈央, 児玉弘美, 宮下康雄, 石川和彦, 林 賢一  
(滋賀県衛生科学センター)

A02 市販鶏肉のカンピロバクター, サルモネラ汚染実態調査 -衛生指標菌との関連性-

○下田浩之<sup>1)</sup>, 山本千景<sup>2)</sup>, 内田和之<sup>3)</sup>, 河合高生<sup>4)</sup>, 浅尾 努<sup>5)</sup>, 山田和子<sup>1)</sup>  
( (株)生活品質科学研究所<sup>1)</sup>, シスメックス(株)<sup>2)</sup>, シスメックス・ビオメリュー(株)<sup>3)</sup>, 大阪府立公衆衛生研究所<sup>4)</sup>, (財)日本食品分析センター<sup>5)</sup>)

A03 食品細菌検査システムDOXによる食鳥肉中のサルモネラの迅速検出

○丹埜昭一<sup>1)</sup>, 板橋由美子<sup>2)</sup>, 井上耕博<sup>2)</sup>, 山下 貢<sup>1)</sup>  
(ダイキン工業環境技術研究所<sup>1)</sup>, コージンバイオ(株)<sup>2)</sup>)

A04 大腸菌O157, サルモネラおよびリステリアの免疫学的同時検出における一斉培養条件の最適化

○北岡勇人<sup>1)</sup>, 小林弘司<sup>2)</sup>, 本城賢一<sup>1)</sup>, 宮本敬久<sup>1)</sup>  
(九州大学大学院<sup>1)</sup>, ふくおかIST<sup>2)</sup>)

10:10~10:50 座長:堀川和美(福岡県保健環境研究所)

A05 フェージ蛋白を用いたバイダス腸管出血性大腸菌O157検出用試薬の評価

○福島さやか<sup>1)</sup>, 晴枝ゆかり<sup>1)</sup>, 澤村健一<sup>1)</sup>, 倉持重彦<sup>1)</sup>, 内田和之<sup>2)</sup>, 澤口 勸<sup>3)</sup>, 中川 弘<sup>1)</sup>  
( (株)BMLフード・サイエンス<sup>1)</sup>, シスメックス・ビオメリュー(株)<sup>2)</sup>, シスメックス(株)<sup>3)</sup>)

A06 食品中のO157およびO26以外の志賀毒素産生性大腸菌の増菌培養条件についての検討

○神吉政史, 勢戸和子, 原田哲也, 余野木伸哉, 久米田裕子  
(大阪府立公衆衛生研究所)

A07 NHイムノクロマトO26, O111による食品からの腸管出血性大腸菌O26, O111スクリーニングの有用性

○和田貴臣, 土岡宏彰  
( (財)広島県環境保健協会)

A08 糞便から腸管出血性大腸菌O157, O26およびO111を同時に分離するためのCT-CHROMagar NIS培地の評価

○天野加奈子<sup>1)</sup>, 小澤一弘<sup>1)</sup>, 金子孝昌<sup>2)</sup>, 久保亮一<sup>2)</sup>, 増田高志<sup>1)</sup>, 小沼博隆<sup>3)</sup>, 仁科徳啓<sup>1)</sup>  
( (株)中部衛生検査センター<sup>1)</sup>, (株)関東化学<sup>2)</sup>, 東海大学<sup>3)</sup>)

10:50~11:20 座長:小澤一弘((株)中部衛生検査センター)

A09 大腸菌O157の固体表面への付着性とアシルホモセリンラクトン類の影響

○横井川久己男<sup>1)</sup>, 武政二郎<sup>1,2)</sup>, 田中文乃<sup>1,3)</sup>, 四方知子<sup>1)</sup>, 達 牧子<sup>1,4)</sup>  
(徳島大学大学院<sup>1)</sup>, 辻調理師専門学校<sup>2)</sup>, 日研生物医学研究所<sup>3)</sup>, 神戸女短大<sup>4)</sup>)

A10 培養併用蛍光 *in situ* ハイブリダイゼーション法を用いたサルモネラと大腸菌の同時検出

○清水茂雅, 青井良平, 山崎浩司, 川合祐史  
(北海道大学大学院)

A11 環境検査における卵黄加クロモアガーオリエンタシオンの応用

○古川理予<sup>1)</sup>, 塩崎 亮<sup>1)</sup>, 坂入美智子<sup>1)</sup>, 串田孝志<sup>1)</sup>, 金子孝昌<sup>2)</sup>  
(セフコフーズ(株)<sup>1)</sup>, 関東化学(株)<sup>2)</sup>)

**B会場（ピアザ淡海 2F ピアザホール）**

**9:30～10:10** 座長：河合高生（大阪府立公衆衛生研究所）

- B01 ウェルシュ菌の消化器感染過程を解析するための *in vitro* 実験系  
星 英之<sup>1)</sup>, 近藤香織<sup>1)</sup>, 堀口安彦<sup>2)</sup>, 山本茂貴<sup>3)</sup>, 鎌田洋一<sup>3)</sup>, ○三宅眞実<sup>1)</sup>  
(大阪府立大学大学院<sup>1)</sup>, 阪大微研<sup>2)</sup>, 国立医薬品食品衛生研究所<sup>3)</sup>)
- B02 食中毒事例から分離されたプラスミド性エンテロトキシン産生ウェルシュ菌について  
○門間千枝, 鈴木康規, 齊木 大, 新井輝義, 小西典子, 横山敬子, 上原さとみ, 高橋正樹, 尾畑浩魅,  
仲真晶子, 甲斐明美  
(東京都健康安全研究センター)
- B03 ウェルシュ菌の増殖とエンテロトキシン産生に及ぼす各種食材の影響  
○白根智子, 岨 明奈, 脇本麻未, 小塚 諭  
(至学館大学)
- B04 天然物ハードルによるボツリヌス菌の制御  
○村上礼奈<sup>1)</sup>, 竹井咲希<sup>2)</sup>, 崔 海英<sup>3)</sup>, 中野宏幸<sup>1)</sup>  
(広島大学大学院<sup>1)</sup>, 広島大学生物生産<sup>2)</sup>, 江蘇大学<sup>3)</sup>)

**10:10～10:50** 座長：鎌田洋一（国立医薬品食品衛生研究所）

- B05 *Listeria monocytogenes* のバイオフィルム形成に及ぼすベルトコンベヤーの表面構造と洗浄効果の影響  
○C.Yuphakhun<sup>1)</sup>, 高橋 肇<sup>1)</sup>, 久田 孝<sup>1)</sup>, K.Suwimon<sup>2)</sup>, 木村 凡<sup>1)</sup>  
(東京海洋大学<sup>1)</sup>, Chulalongkorn University<sup>2)</sup>)
- B06 PCR 法によるセレウス菌の鞭毛抗原型別法の検討  
○安形則雄, 藪谷充孝  
(名古屋市衛生研究所)
- B07 酵素基質含有セレウス菌選択分離培地の評価  
○寺村 哉, 内田将文, 菓子田充明, 小高秀正  
(日水製薬株式会社)
- B08 患者数の少ない黄色ブドウ球菌食中毒事例のエンテロトキシン量  
○池田徹也, 久保亜希子, 森本 洋, 清水俊一, 山口敬治  
(北海道立衛生研究所)

**10:50～11:20** 座長：浅井紀夫（京都府保健環境研究所）

- B09 食鳥肉における新しいカンピロバクター制御技術の開発  
○新木泰輔, 佐々木賢美, 山崎 涉, 三澤尚明  
(宮崎大学)
- B10 直火およびホットプレートを用いた焼肉調理における腸管出血性大腸菌 O157 の挙動  
○大塚佳代子<sup>1)</sup>, 和栗 敦<sup>2)</sup>, 楠原 一<sup>3)</sup>, 門脇奈津子<sup>1)</sup>, 千葉雄介<sup>1)</sup>, 伊豫田淳<sup>4)</sup>, 小林秀樹<sup>5)</sup>,  
工藤由起子<sup>6)</sup>  
(埼玉県衛生研究所<sup>1)</sup>, 青森県環境保健センター<sup>2)</sup>, 三重県保健環境研究所<sup>3)</sup>, 国立感染症研究所<sup>4)</sup>,  
(独)動物衛生研究所<sup>5)</sup>, 国立医薬品食品衛生研究所<sup>6)</sup>)
- B11 食中毒起因菌に対する柿渋の効果  
○神本真紀<sup>1)</sup>, 中井義昭<sup>2)</sup>, 辻 徹<sup>2)</sup>, 島本 整<sup>1)</sup>  
(広島大学大学院<sup>1)</sup>, アルタン (株)<sup>2)</sup>)

**C会場（ピアザ淡海 3F 大会議室）**

**9:30～10:00** 座長 久米田裕子（大阪府立公衆衛生研究所）

- C01 白カビチーズの褐変部より分離された *Helicostylum pulchrum*, *Scopulariopsis flava*, および *Debaryomyces hansenii* について  
○杉浦義紹<sup>1)</sup>, 田中徳子<sup>1)</sup>, 田中敏嗣<sup>1)</sup>, 宇田川俊一<sup>2)</sup>  
(神戸市環境保健研究所<sup>1)</sup>, 東京農業大学総合研究所<sup>2)</sup>)
- C02 *Fusarium* 属菌の同定に適する遺伝子指標の評価  
○渡辺麻衣子<sup>1)</sup>, 米澤隆弘<sup>2)</sup>, 李 謙一<sup>3)</sup>, 熊谷 進<sup>3)</sup>, 小西良子<sup>1)</sup>, 後藤慶一<sup>4)</sup>, 工藤由起子<sup>1)</sup>  
(国立医薬品食品衛生研究所<sup>1)</sup>, 復旦大学生命科学学院<sup>2)</sup>, 東京大学大学院<sup>3)</sup>, 三井農林(株)食品総合研究所<sup>4)</sup>)
- C03 食品危害耐熱性カビ *Byssoschlamys* 属 4 種の迅速識別法  
○細谷幸一<sup>1)</sup>, 中山素一<sup>1)</sup>, 今西由巳<sup>2)</sup>, 松澤哲宏<sup>2)</sup>, 矢口貴志<sup>2)</sup>  
(花王(株)安全性評価研究所<sup>1)</sup>, 千葉大学真菌医学研究センター<sup>2)</sup>)

**10:00～10:30** 座長：杉浦義紹（神戸市環境保健研究所）

- C04 青果市場の真菌汚染とチアベンダゾール耐性菌の分布  
○千葉隆司, 高橋由美, 上原智子, 小島隆樹, 高野伊知郎, 仲真晶子, 甲斐明美  
(東京都健康安全研究センター)
- C05 *Fusarium kyushuense* によるアフラトキシン自然汚染の可能性  
○鈴木啓子, 竹本雅美, 矢内美幸, 五十嵐奈津子, 伊藤志保美, 小木曾基樹, 馬場浩, 宇田川俊一  
(財)日本食品分析センター多摩研究所)
- C06 乾燥果実におけるフモニシン B2 とオクラトキシン A の共汚染原因菌  
○矢内美幸, 梶原知恵, 鈴木啓子, 木村彩子, 小木曾基樹, 馬場 浩, 宇田川俊一  
(財)日本食品分析センター多摩研究所)

**10:30～11:10** 座長：川本伸一（(独)農研機構食品総合研究所）

- C07 酢酸ガスによる芽もの野菜種子の殺菌効果  
○根井大介<sup>1)</sup>, Md. Latiful Bari<sup>1)</sup>, 榎本克義<sup>2)</sup>, 稲津康弘<sup>1)</sup>, 川本伸一<sup>1)</sup>  
(独)農研機構食品総合研究所<sup>1)</sup>, (株)大生機械<sup>2)</sup>)
- C08 オゾン含有マイクロバブル水によるマンゴーの鮮度保持並びに殺菌効果  
○三澤尚明<sup>1)</sup>, 佐々木賢美<sup>1)</sup>, 吉山佳世<sup>2)</sup>, 福井敬一<sup>2)</sup>  
(宮崎大学<sup>1)</sup>, 宮崎県 JA 食品開発研究所<sup>2)</sup>)
- C09 葉物野菜の洗浄殺菌に関する研究  
○潘 小軍<sup>1)</sup>, 甲斐理恵<sup>2)</sup>, Mak Lee-Ming<sup>1)</sup>, 中野宏幸<sup>1)</sup>  
(広島大学大学院<sup>1)</sup>, 広島大学<sup>2)</sup>)
- C10 果汁の殺菌への超音波“Dynashock”技術の利用  
○竹井咲希<sup>1)</sup>, Alonzo A. Gabriel<sup>2)</sup>, 魏 莉麗<sup>2)</sup>, 中野宏幸<sup>2)</sup>  
(広島大学<sup>1)</sup>, 広島大学大学院<sup>2)</sup>)

**D会場（コラボしが2 1 3F 大会議室）**

**9:30～9:50** 座長：貫名正文（神戸市環境保健研究所）

- D01 食肉からの基質特異性拡張型  $\beta$  ラクタマーゼ産生大腸菌の検出  
○下島優香子, 井田美樹, 猪股光司, 樋口容子, 田端麻里, 河村真保, 畠山 薫, 仲真晶子, 甲斐明美  
(東京都健康安全研究センター)
- D02 食肉および市中病院外来患者下痢便由来基質特異性拡張型  $\beta$ -ラクタマーゼ産生菌  
○石原ともえ<sup>1)</sup>, 古川一郎<sup>1)</sup>, 黒木俊郎<sup>1)</sup>, 神山 務<sup>2)</sup>  
(神奈川県衛生研究所<sup>1)</sup>, かみやま小児科クリニック<sup>2)</sup>)

9:50~10:30 座長：山崎謙治（大阪府立公衆衛生研究所）

D03 塩基配列情報共有化の食品媒介ウイルス感染症の疫学調査への応用

○野田 衛<sup>1)</sup>、片山和彦<sup>2)</sup>、石井孝司<sup>2)</sup>、岡 智一郎<sup>2)</sup>、多田有希<sup>2)</sup>、山下和予<sup>2)</sup>、三瀬敬治<sup>3)</sup>、吉澄志磨<sup>4)</sup>、植木 洋<sup>5)</sup>、林 志直<sup>6)</sup>、山崎匠子<sup>7)</sup>、小原真弓<sup>8)</sup>、吉田徹也<sup>9)</sup>、小林慎一<sup>10)</sup>、中田恵子<sup>11)</sup>、入谷展弘<sup>12)</sup>、三好龍也<sup>13)</sup>、阿部勝彦<sup>14)</sup>、山下育孝<sup>15)</sup>、糸数清正<sup>16)</sup>、中村奈緒美<sup>2)</sup>、島田智恵<sup>2)</sup>、岡部信彦<sup>2)</sup>  
(国立医薬品食品衛生研究所<sup>1)</sup>、国立感染症研究所<sup>2)</sup>、札幌医科大学<sup>3)</sup>、北海道立衛生研究所<sup>4)</sup>、宮城県保健環境センター<sup>5)</sup>、東京都健康安全研究センター<sup>6)</sup>、杉並区衛生試験所<sup>7)</sup>、富山衛生研究所<sup>8)</sup>、長野県環境保健研究所<sup>9)</sup>、愛知県衛生研究所<sup>10)</sup>、大阪府立公衆衛生研究所<sup>11)</sup>、大阪市環境科学研究所<sup>12)</sup>、堺市衛生研究所<sup>13)</sup>、広島市衛生研究所<sup>14)</sup>、愛媛県衛生環境研究所<sup>15)</sup>、沖縄県衛生環境研究所<sup>16)</sup>)

D04 食品検体のノロウイルス検査を目的としたパンソルビン・トラップ法の開発

○斎藤博之<sup>1)</sup>、東方美保<sup>2)</sup>、岡智一郎<sup>3)</sup>、片山和彦<sup>3)</sup>、田中智之<sup>4)</sup>、野田 衛<sup>5)</sup>  
(秋田県健康環境センター<sup>1)</sup>、福井県衛生環境研究センター<sup>2)</sup>、国立感染症研究所<sup>3)</sup>、堺市衛生研究所<sup>4)</sup>、国立医薬品食品衛生研究所<sup>5)</sup>)

D05 広島県内の河川・沿岸海域におけるノロウイルスの環境調査

○渡部菜保<sup>1)</sup>、岡本理沙<sup>2)</sup>、神本真紀<sup>1)</sup>、島本 整<sup>1)</sup>、  
(広島大学大学院<sup>1)</sup>、広島大学生物生産<sup>2)</sup>)

D06 食中毒事例におけるノロウイルス重感染のウイルス遺伝子学的解析

○田中智之<sup>1)</sup>、本村和嗣<sup>2)</sup>、内野清子<sup>1)</sup>、三好達也<sup>1)</sup>、松尾光子<sup>1)</sup>、西口智子<sup>1)</sup>、佐藤裕徳<sup>2)</sup>、吉田永祥<sup>1)</sup>  
(堺市衛生研究所<sup>1)</sup>、国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター<sup>2)</sup>)

10:30~11:10 座長：千葉隆司（東京都健康安全研究センター）

D07 試験室内における繰返し試験データに基づく生菌数の不確かさの推定

○諸藤 圭<sup>1)</sup>、土屋 禎<sup>1)</sup>、田中廣行<sup>1)</sup>、工藤由起子<sup>2)</sup>  
( (財)日本食品分析センター<sup>1)</sup>、国立医薬品食品衛生研究所<sup>2)</sup>)

D08 電話調査およびインターネット調査による下痢症被害実態の推定

○窪田邦宏<sup>1)</sup>、岩崎恵美子<sup>2)</sup>、稲垣俊一<sup>3)</sup>、吉田菊喜<sup>4)</sup>、小黒美舎子<sup>4)</sup>、太田 博<sup>4)</sup>、桜井芳明<sup>5)</sup>、小松真由美<sup>5)</sup>、豊福 肇<sup>6)</sup>、春日文子<sup>1)</sup>、天沼 宏<sup>1)</sup>、森川 馨<sup>1)</sup>  
(国立医薬品食品衛生研究所<sup>1)</sup>、健康予防政策機構<sup>2)</sup>、厚生労働省東北厚生局<sup>3)</sup>、仙台市衛生研究所<sup>4)</sup>、宮城県医師会健康センター<sup>5)</sup>、国立保健医療科学院<sup>6)</sup>)

D09 HACCP の概念をとり入れた滋賀県食品自主衛生管理認証制度（愛称：セーフフードしが）による食品製造管理の向上

○東野貴子、土江大樹、並河孝至、金岡良浩、磯邊 徹、辻 浩司、山形哲夫  
(滋賀県生活衛生課食の安全推進室)

D10 酵母を利用した温度管理用インディケータの改良

○中川恵介<sup>1)</sup>、一色賢司<sup>1)</sup>、工藤優輝<sup>2)</sup>、木暮秀則<sup>3)</sup>  
(北海道大学大学院<sup>1)</sup>、北海道大学<sup>2)</sup>、大成ラミック(株)<sup>3)</sup>)

第2日目（11月12日(金)）

A 会場（びわ湖ホール 中ホール）

9:30~10:10 座長：三宅眞実（大阪府立大学大学院）

A12 疫学マーカーを用いて観察した *Campylobacter jejuni* 群の食鳥生産から流通消費に至る動態

○山口敬治<sup>1)</sup>、北村 剛<sup>2)</sup>、池田徹也<sup>1)</sup>、森本 洋<sup>1)</sup>  
(北海道立衛生研究所<sup>1)</sup>、北海道渡島保健所<sup>2)</sup>)

A13 Cycleave PCR® *Campylobacter (coli/jejuni)* Typing Kit を用いたカンピロバクター属細菌の迅速検査

○四良丸幸<sup>1)</sup>、井上春奈<sup>1)</sup>、西川明芳<sup>1)</sup>、朝倉昌博<sup>1,2)</sup>、松久明生<sup>2)</sup>、山崎伸二<sup>1)</sup>  
(大阪府立大学大学院<sup>1)</sup>、扶桑薬品工業研究開発センター<sup>2)</sup>)

- A14 腸管性出血性大腸菌 O157 における IS629 の分布状況による集団遺伝学的解析  
○横山栄二<sup>1)</sup>, 江藤良樹<sup>2)</sup>, 市原祥子<sup>2)</sup>, 堀川和美<sup>2)</sup>  
(千葉県衛生研究所<sup>1)</sup>, 福岡県保健環境研究所<sup>2)</sup>)
- A15 IS-printing system およびパルスフィールドゲル電気泳動法を用いた腸管出血性大腸菌感染事例での疫学解析  
○浅井紀夫<sup>1)</sup>, 中嶋智子<sup>1)</sup>, 柳瀬杉夫<sup>1)</sup>, 三谷亜里子<sup>2)</sup>, 河村絵美<sup>3)</sup>, 小嶋新也<sup>3)</sup>  
(京都府保健環境研究所<sup>1)</sup>, 京都府山城北保健所<sup>2)</sup>, 京都府山城南保健所<sup>3)</sup>)

**10:10~10:50** 座長：門間千枝（東京都健康安全研究センター）

- A16 食肉からのカンピロバクター検出のための選択増菌培地の検討  
○百武晃宏, 山本純平, 田中文乃, 橋本昌美, 梅迫誠一  
(株)日研生物医学研究所)
- A17 鶏肉類中のカンピロバクター菌迅速検出に「シカイクノテストカンピロバクターⅡ」を用いる場合の最適培養条件について  
小田隆弘<sup>1)</sup>, ○古田宗宜<sup>1)</sup>, 金子孝昌<sup>2)</sup>, 木原温子<sup>2)</sup>, 樋脇 弘<sup>3)</sup>  
(中村学園大学短期大学部<sup>1)</sup>, 関東化学(株)<sup>2)</sup>, 福岡市保健環境研究所<sup>3)</sup>)
- A18 リアルタイム PCR 法を用いた *Campylobacter jejuni/coli* 検出のための選択増菌培地の評価  
○伊達佳美, 浅井良夫, 古川一郎, 相川勝弘, 石原ともえ, 黒木俊郎  
(神奈川県衛生研究所)
- A19 市販 *Campylobacter* 選択分離生培地の比較検討  
○加藤美由紀, 松川昭宏, 岩瀬由美  
(株)エスアールエル沼津ラボラトリー)

**10:50~11:20** 座長：杉山寛治（静岡県環境衛生科学研究所）

- A20 LAMP 法及びリアルタイム PCR 法を用いた毒素原性大腸菌の検出について  
○門脇奈津子<sup>1)</sup>, 安藤陽子<sup>2)</sup>, 荒井公子<sup>1)</sup>, 大塚佳代子<sup>1)</sup>, 野口貴美子<sup>1)</sup>, 中川俊夫<sup>1)</sup>  
(埼玉県衛生研究所<sup>1)</sup>, 埼玉県川口保健所<sup>2)</sup>)
- A21 LAMP 法キットを用いた油粕飼料原料および環境試料からのサルモネラ迅速検出法  
○吉野 学, 大嶋 彰, 太田嘉則, 神田秀俊  
(栄研化学(株)生物化学研究所)
- A22 増菌培養と LAMP 法を組み合わせた腸炎ビブリオ高感度検出法の検討  
山崎 貢<sup>2)</sup>, ○松本昌門<sup>1)</sup>, 青木日出美<sup>2)</sup>, 山本弘明<sup>1)</sup>, 山田和弘<sup>1)</sup>, 平松礼司<sup>1)</sup>, 皆川洋子<sup>1)</sup>, 岩出義人<sup>3)</sup>  
(愛知県衛生研究所<sup>1)</sup>, 愛知県衣浦東部保健所<sup>2)</sup>, 三重県保健環境研究所<sup>3)</sup>)

**B 会場（ピアザ淡海 2F ピアザホール）**

**9:30~10:10** 座長：和田貴臣（(財) 広島県環境保健協会）

- B12 日本における腸炎ビブリオ食中毒の発生と二枚貝のビブリオ汚染状況  
○西尾智裕<sup>1)</sup>, 田中廣行<sup>2)</sup>, 中川 弘<sup>3)</sup>, 八尋俊輔<sup>4)</sup>, 山崎省吾<sup>5)</sup>, 斉藤志保子<sup>6)</sup>, 大友良光<sup>7)</sup>, 岩出義人<sup>8)</sup>, 大塚佳代子<sup>9)</sup>, 杉山寛治<sup>1)</sup>, 小沼博隆<sup>10)</sup>, 熊谷 進<sup>11)</sup>, 小西良子<sup>12)</sup>, 工藤由起子<sup>12)</sup>  
(静岡県環境衛生科学研究所<sup>1)</sup>, (財) 日本食品分析センター<sup>2)</sup>, (株) BML フード・サイエンス<sup>3)</sup>, 熊本県保健環境科学研究所<sup>4)</sup>, 長崎県環境保健研究センター<sup>5)</sup>, 秋田県健康環境センター<sup>6)</sup>, 弘前大学<sup>7)</sup>, 三重県保健環境研究所<sup>8)</sup>, 埼玉県衛生研究所<sup>9)</sup>, 東海大学<sup>10)</sup>, 東京大学<sup>11)</sup>, 国立医薬品食品衛生研究所<sup>12)</sup>)
- B13 食品における腸炎ビブリオ汚染の免疫学的スクリーニング方法の開発  
○坂田淳子, 川津健太郎, 久米田裕子  
(大阪府立公衆衛生研究所)

- B14 腸炎ビブリオと誤同定される白糖非分解性 *Vibrio* 属菌について  
○河合高生, 井澤恭子, 余野木伸哉, 坂田淳子, 原田哲也, 河原隆二, 神吉政史, 勢戸和子, 久米田裕子  
(大阪府立公衆衛生研究所)
- B15 各種イカ塩辛の塩分濃度に着目した腸炎ビブリオの汚染と増殖  
○中口義次  
(京都大学東南アジア研究所)

**10:10~10:40** 座長：横井川久己男 (徳島大学大学院)

- B16 蛍光 Multiplex PCR 法を用いた食中毒起因微生物の包括的検出  
○谷澤由枝<sup>1)</sup>, 桑山 勝<sup>1)</sup>, 重本直樹<sup>1)</sup>, 山田裕子<sup>1)</sup>, 大原祥子<sup>2)</sup>, 福田伸治<sup>1)</sup>  
(広島県立総合技術研究所保健環境センター<sup>1)</sup>, 広島県食肉衛生検査所<sup>2)</sup>)
- B17 食中毒菌主要7種8領域のDNAマイクロアレイ検査法  
○山崎隆明<sup>1)</sup>, 原田天章<sup>2)</sup>, 亀井修一<sup>3)</sup>, 吉田充裕<sup>1)</sup>, 遠田昌人<sup>4)</sup>  
(東洋製罐グループ総合研究所<sup>1)</sup>, 東洋製罐(株)開発本部<sup>2)</sup>, 東洋鋼板(株)技術開発本部技術研究所<sup>3)</sup>, (財)東洋食品研究所<sup>4)</sup>)
- B18 遺伝子検査用増菌培地およびカクテルプライマーを組み合わせた食品中の生菌スクリーニングシステムの構築  
○林 将大<sup>1)</sup>, 窪田佐代子<sup>2)</sup>, 森 麻美<sup>1)</sup>, 水野卓也<sup>1)</sup>, 江崎孝行<sup>1)</sup>  
(岐阜大学大学院<sup>1)</sup>, エーエムアール (株)<sup>2)</sup>)

**10:40~11:10** 座長：山口敬治 (北海道立衛生研究所)

- B19 Detection of foodborne pathogens by multiplex PCR from food samples in fresh markets and supermarkets in Bangkok, Thailand  
○Chiraporn Ananchaipattana, Susumu Kawasaki, Md. Latiful Bari, Yasuhiro Inatsu  
(National Food Research Institute, NARO)
- B20 鶏肉からのバンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) 試験法の検討  
○原田哲也, 神吉政史, 河合高生, 田口真澄, 久米田裕子  
(大阪府立公衆衛生研究所)
- B21 食品および糞便から分離されたメチシリン耐性黄色ブドウ球菌について  
○小西典子, 尾畑浩魅, 齋木 大, 上原さとみ, 新井輝義, 門間千枝, 仲真晶子, 甲斐明美  
(東京都健康安全研究センター)

**C 会場 (ピアザ淡海 3F 大会議室)**

**9:30~10:00** 座長：小田隆弘 (中村学園大学短期大学部)

- C11 培養併用 F I S H システムによる食品中の腸内細菌科の計数  
○大坪雅史<sup>1)</sup>, 工藤文子<sup>1)</sup>, 斉藤美帆<sup>1)</sup>, 高橋信行<sup>2)</sup>, 澤田大剛<sup>3)</sup>, 須貝保徳<sup>4)</sup>  
(北海道立工業技術センター<sup>1)</sup>, 公立ほこだて未来大学<sup>2)</sup>, (株)東和電機製作所<sup>3)</sup>, (株)電制<sup>4)</sup>)
- C12 幅広く腸内細菌科の菌群をスクリーニングする迅速遺伝子検査法の開発  
○水野卓也<sup>1)</sup>, 窪田佐代子<sup>2)</sup>, 林 将大<sup>1)</sup>, 森 麻美<sup>1)</sup>, 吉田 滋<sup>2)</sup>, 江崎孝行<sup>1)</sup>  
(岐阜大学大学院<sup>1)</sup>, エーエムアール (株)<sup>2)</sup>)
- C13 MPCR 法による腸内細菌検出方法  
○東 隆寛<sup>1)</sup>, 荒川 琢<sup>2)</sup>, 茂木直也<sup>3)</sup>, 萩原直樹<sup>3)</sup>  
(東洋紡績敦賀バイオ研究所<sup>1)</sup>, 東洋紡績ライフサイエンス事業部<sup>2)</sup>, (株)らいふ<sup>3)</sup>)

**10:00~10:40** 座長：五十君静信（国立医薬品食品衛生研究所）

- C14 市販新鮮野菜における *Cronobacter* spp. (*Enterobacter sakazakii*) の汚染実態  
○荻原博和<sup>1)</sup>、桐部奈美<sup>1)</sup>、赤羽辰則<sup>1)</sup>、鎗木咲子<sup>1)</sup>、古川壮一<sup>1)</sup>、森永 康<sup>1)</sup>、五十君静信<sup>2)</sup>  
(日本大学<sup>1)</sup>、国立医薬品食品衛生研究所<sup>2)</sup>)
- C15 *Cronobacter* 属 5 菌種 (旧 *Enterobacter sakazakii*) を一括して検出する方法の開発  
○森 麻美<sup>1)</sup>、窪田佐代子<sup>2)</sup>、林 将大<sup>1)</sup>、水野卓也<sup>1)</sup>、吉田 滋<sup>2)</sup>、江崎孝行<sup>1)</sup>  
(岐阜大学大学院<sup>1)</sup>、エーエムアール (株)<sup>2)</sup>)
- C16 非培養法による一般生菌の迅速計測  
○竹中 啓<sup>1)</sup>、稲波久雄<sup>2)</sup>、三品正俊<sup>3)</sup>、原良太郎<sup>3)</sup>  
(日立製作所<sup>1)</sup>、日立エンジニアリング・アンド・サービス<sup>2)</sup>、日水製薬<sup>3)</sup>)
- C17 非培養法による食品中の一般生菌数計測  
○稲波久雄<sup>1)</sup>、竹中 啓<sup>2)</sup>  
(日立エンジニアリング・アンド・サービス<sup>1)</sup>、日立製作所<sup>2)</sup>)

**10:40~11:10** 座長：泉谷秀昌（国立感染症研究所）

- C18 ミニトマト栽培土壌におけるサルモネラの生残性と可食部移行  
○三島朋子、城戸希望、Narongrit Paisanvipatchapong、本城賢一、宮本敬久  
(九州大学大学院)
- C19 リーフレタス栽培土壌におけるサルモネラの生残性と可食部移行  
○城戸希望<sup>1)</sup>、三島朋子<sup>1)</sup>、Narongrit Paisanvipatchapong<sup>1)</sup>、中島慧子<sup>2)</sup>、本城賢一<sup>1)</sup>、宮本敬久<sup>1)</sup>  
(九州大学大学院<sup>1)</sup>、九州大農<sup>2)</sup>)
- C20 冷凍自然解凍おかつの衛生細菌学的研究  
上田成子、○松本知子、藁科信慧、桑原祥浩  
(女子栄養大学)

**D 会場（コラボしが2 1 3F 大会議室）**

**9:30~10:00** 座長：並河孝至（滋賀県生活衛生課食の安全推進室）

- D11 電解水による衛生的手洗い効果  
○堀田国元<sup>1)</sup>、都筑洋子<sup>1)</sup>、畑山友紀<sup>2)</sup>、西島基弘<sup>2)</sup>  
( (財) 機能水研究振興財団<sup>1)</sup>、実践女子大学<sup>2)</sup>)
- D12 電解水による日常的手洗い効果  
○堀田国元<sup>1)</sup>、都筑洋子<sup>1)</sup>、畑山友紀<sup>2)</sup>、西島基弘<sup>2)</sup>、  
( (財) 機能水研究振興財団<sup>1)</sup>、実践女子大学<sup>2)</sup>)
- D13 生鮮魚介類の腐敗に関する微生物測定法の検討  
○郡司明博、岸野玲子、桐村飛鳥、井浦和也、片桐秀樹、吉田信一郎、仲西寿男  
( (財) 日本食品分析センター)

**10:00~10:40** 座長：田中廣行（(財) 日本食品分析センター）

- D14 微生物を起因とする腐敗クレームにおける顕微鏡検査の実用性と前処理の工夫  
○岡本一成、三宅大介、北城幸子、宮本寛子、西井成樹、今井一人  
( (株) ファルコライフサイエンス)
- D15 虐待試験でレトルト食品から分離されたフラットサワー菌の性状と間欠滅菌の検討  
○涌嶋三津子<sup>1)</sup>、西川景子<sup>1)</sup>、泉 秀実<sup>2)</sup>、西川禎一<sup>1)</sup>  
(大阪市立大学大学院<sup>1)</sup>、近畿大学<sup>2)</sup>)
- D16 海ぶどう生産の衛生管理技術開発1 ―清浄化方法―  
○久高 潤<sup>1)</sup>、泉 一郎<sup>1)</sup>、玉那覇康二<sup>1)</sup>、久保弘文<sup>2)</sup>、紫波俊介<sup>2)</sup>  
(沖縄県衛生環境研究所<sup>1)</sup>、沖縄県水産業改良普及センター<sup>2)</sup>)

- D17 海ぶどう生産の衛生管理技術開発2 ―ペトリフィルム ACP を用いた海洋細菌の定量法―  
○久高 潤<sup>1)</sup>, 玉那覇康二<sup>1)</sup>, 糸数清正<sup>1)</sup>, 平良勝也<sup>1)</sup>, 仁平 稔<sup>1)</sup>, 岡野 祥<sup>1)</sup>, 北原章生<sup>2)</sup>  
(沖縄県衛生環境研究所<sup>1)</sup>, スリーエム ヘルスケア (株)<sup>2)</sup>)

**10:40~11:10** 座長：高須一重（（財）日本食品分析センター）

- D18 清涼飲料水の開封・口飲みによって生じる微生物汚染での原因菌の解析  
○大西貴弘<sup>1)</sup>, 後藤慶一<sup>2)</sup>, 金澤裕司<sup>3)</sup>, 小澤一弘<sup>4)</sup>, 神田 隆<sup>5)</sup>, 杉山寛治<sup>5)</sup>, 渡辺麻衣子<sup>1)</sup>  
小沼博隆<sup>6)</sup>, 工藤由起子<sup>1)</sup>  
(国立医薬品食品衛生研究所<sup>1)</sup>, 三井農林株式会社<sup>2)</sup>, 静岡市環境保健研究所<sup>3)</sup>, (株) 中部衛生検査センター<sup>4)</sup>, 静岡県環境衛生科学研究所<sup>5)</sup>, 東海大学<sup>6)</sup>)
- D19 生食用鮮魚介類等におけるヒスタミン産生菌に関する調査  
○宮崎麻由<sup>1)</sup>, 中居真代<sup>1)</sup>, 有田富和<sup>1)</sup>, 加藤浩之<sup>2)</sup>, 那須 務<sup>1)</sup>, 渡邊 節<sup>1)</sup>, 沖村容子<sup>1)</sup>, 御代田恭子<sup>3)</sup>  
(宮城県保健環境センター<sup>1)</sup>, 宮城県立がんセンター<sup>2)</sup>, 宮城学院女子大学<sup>3)</sup>)
- D20 健常成人女性の排便および腸内細菌叢に及ぼす納豆菌芽胞摂取の影響  
○大瀧瑞恵, 小塚 諭  
(至学館大学大学院)